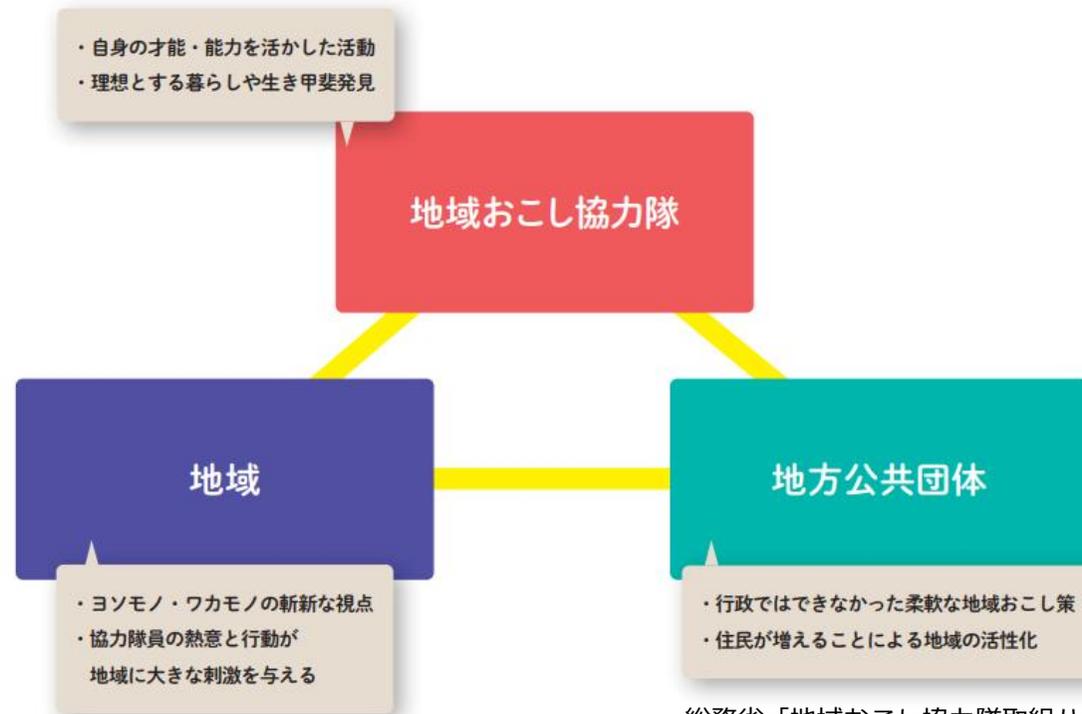


# 地域おこし協力隊について

## 1. 地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年から3年です。

【イメージ図】



総務省「地域おこし協力隊取組ハンドブック（令和6年度作成）」より抜粋

詳細は総務省HPをご覧ください。

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_gyousei/c-gyousei/02gyousei08\\_03000066.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/02gyousei08_03000066.html)

## STEP1

## きっかけ（背景・課題）

- ・ 従業員を雇用する上で**予算面が課題**となるが、地域おこし協力隊は受入・活動支援にかかる**各種費用に対し、国の支援制度**があった。
- ・ 地域おこし協力隊は基本的に県外から来るため、**様々な知見を得られる**と思った。

## STEP2

## 主な取組

- ・ これまで計6名の地域おこし協力隊を受け入れ、**現在2名の地域おこし協力隊**を雇用。令和8年度も新たに1人雇用を予定している。
- ・ 新たに雇用した際は、**自らの施設でOJT研修**をしっかりと行い、仕事に慣れてもらうようにしている。
- ・ 地域に馴染めるよう、月に1回開催される移住者と定住者が集まる会合と一緒に参加する等、**プライベートの面でもケア**を行う。
- ・ 今後は、**任期終了後も継続して雇用**できるよう、「特定地域づくり事業協同組合制度」の活用を予定している。

## STEP3

## 活用した感想・成果

- ・ 地域おこし協力隊の方は地域に対してのやる気がすごいので、地元のお祭り等に積極的に参加してくれるほか、**楽しんで仕事をしてくれる**。

## ＜施設情報＞

- ・ 取扱獣種：イノシシ
- ・ 公設・公営
- ・ 代表自身も地域おこし協力隊として活動経験有
- ・ ジビエを楽しむ食文化を日本に根づかせることを目指し、飲食店に認められる良質な肉づくりに励むとともに、高水準の衛生環境での食肉処理加工を実施
- ・ 講演会によるジビエ処理加工に関する情報提供を実施



OJT研修



ジビエ商品